

単元名 ききどころを見つけて

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解することができる。
 (2) 楽器の音色、旋律や音型の反復と変化、合いの手、速度を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) さまざまな曲の特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070302_001

【教材名】 つるぎのまい(鑑賞) (P. 50～P. 51)

【準備等】 鑑賞CD, ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 「つるぎのまい」を、曲の特徴を感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つるぎのまい」を聴いて、学習課題をつかむ。 ★曲のおもしろいところを見つけてきこう <ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴き、楽曲の特徴を見付ける。 ○楽器に着目して聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ティンパニの音色に着目して聴き、反復されているリズムや音形を聴き取る。 ・木琴の音色に着目して聴き、旋律の速度の変化や、旋律の反復について聴き取る。 ・合いの手に着目し、合いの手が生み出すよさや面白さを感じ取る。 ○楽曲全体の曲想をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を通して聴き、曲想をその変化を聴き取り、気付いたことを話し合う。 ○「つるぎのまい」の曲想と音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで表現方法を考える。 ・考えた表現を発表する。 ・感想を発表し合う。 ○「つるぎのまい」を通して聴き、曲想や特徴について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「つるぎのまい」の紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な旋律や伴奏を演奏している木琴やサクソフォーン、トロンボーン、ティンパニなどの音色、リズム、速度、旋律の反復や変化、合いの手（呼びかけとこたえ）などについて、気付いたことを発表させる。 ・ティンパニについては、叩く動作をしながら聴くようにさせる。 ・木琴については、動作を何もしないように聴くようにさせる。 ・合いの手については、聞こえたところで手を挙げさせるとよい。 <p>【共通事項】反復 変化 旋律 呼びかけとこたえ 速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモをしながら聴き取らせ、話合いにつなげる。 ・「まなびリンク」の動画を活用してもよい。 <p>【評】さまざまな曲の特徴を見つける活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合いの手」「旋律の反復や変化」など、曲の一部分を考えさせるとよい。 ・ハンカチやスカーフなど、小物を使って考えさせてもよい。 <p>【評】曲想と音楽の構造との関わりを理解し、体の動きで表現する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で学んだ音楽の要素については、必ず書かせるようにする。 ・紹介文を新聞などにまとめてもよい。 ・作曲家ハチャトゥリヤンについて調べさせ、書かせてもよい。 <p>【評】楽曲の特徴を聴き取り、そのよさや面白さを言葉で表す活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】